

## 巡視員辞令交付式

### 地すべり見守り隊です！

4月11日(金)農地地すべり巡視員辞令交付式が行われました。

農地地すべり巡視員は、地すべり防止区域を適正に管理するため、農地環境保全に理解と関心があり、地域の近くに住み、また地域の実情にも精通している方を巡視員として任命しています。

毎月1回の点検を行うほか、地震や集中豪雨などの災害時には、いち早く危険を察知し当課へ連絡するなど、とても大切な役割を担っています。  
(自分の身が安全であることを確認したのち点検などを行っていただくようにしています。)



森屋技監あいさつ



辞令交付



辞令交付



業務内容の確認

## 春の訪れ

### さくら満開！

ようやく春らしい天気が続き、新芽たちが顔をのぞかせる季節となり外を散歩してみると鶴岡市暮坪ではカブの花が棚田一面に咲いていました。酒田市の小学校のグラウンドには、「つくし」たちが力強く伸びていました。そして、春を代表する花「さくら」が満開で見ごろを迎えていました。



昼の桜



昼の桜



夕方の桜



夜の桜



暮坪の棚田 日本海を背景に



つくしの行進

## 漂着枯葉を無料提供

### 利用してみませんか！？

加茂港金沢地区では、毎年漂着した枯葉で港内がいっぱいになり漁船の安全航行に支障をきたしている状況です。

このようなことから、県では毎年この漂着枯葉を港から陸あげしたあと、約1年間かけて水抜き・塩抜きを行い、利活用の試みを行っています。

- ◀利用方法▶
- ◇ 既存土と混合して利用。(排水効果が期待できる)
  - ◇ 花などのプランター土として利用(土と50:50で混合)

◀提供場所▶

- ◆ 4月21日(月)～5月2日(金)まで 庄内総合支庁 1Fロビーにて小袋(2kg程度)に分け無料で提供しています。

- ◆ 大量にご利用されたい方は、事前に港湾事務所へお問い合わせ下さい。(0234-26-5637) [【提供条件及び場所はこちらをクリック】](#)

◀ その他 ▶ 資材は『無料』提供しております。(積込み運搬は個人負担となります)



花の生育状況



支庁ロビーでの展示状況



提供している漂着枯葉



支庁ロビーにて提供

1年間かけて水抜き・塩抜き・ふるい機で異物をできる限り除去していますが取りきれない異物も若干混入していますので、用途を判断のうえご利用願います。

## シロカキ

### 水田に必要な水量の調査

庄内支庁農村計画課では、シロカキ期に水田に必要な水量を計算するため観測を行っています。

シロカキ作業水は水深で100～120mmを想定しています。この量を水量に換算すると、30aで300～360m<sup>3</sup>になります。(お風呂約1,000杯分)

水量は水田の土壌タイプや転作田などにより違いがあります。各土壌条件によるシロカキ作業水を観測して、水田農業に必要な水量の確保に役立つものです。



三角堰流量測定



三角堰流量測定



水深確認



水張り状況

今後は、普通期に必要な水量を把握するため、減水深調査を行い、水量に換算する観測作業を行います。(お問合せ先:農村計画課事業担当)

## 生きもの調査

### どんな生きものがあるのかなあ

5月8、9、12、14日の4日間にわたり将来農地整備事業が計画されている4地区の生きもの調査を行いました。

この調査は、事業の計画・実施に際して環境との調和に配慮することが法律で定められており、自然を守るための大きな一歩となる重要な調査なのです。



◀ 環境アドバイザーの方と一緒に捕獲・学習・個体調べ ▶

田んぼや水路(素掘り・コンクリート)にはいろんな生きものがいました。一部を紹介しましょう。



水深確認

水張り状況

・ヤゴ  
・マルタニシ  
・カエル(各種)  
・カワゲラ

・ミズカマキリ  
・カワニナ  
・スナヤツメ  
・タモロコ

・ホトケドジョウ  
・アカハライモリ  
・アブラハヤ  
・オオタニシ

・スジエビ  
・アマガエル  
・モクスガニ  
・ケラ

などなど、

いろんな魚、生きものがいました。こういった生きものを残していくため地元、県、市町、土地改良区で構成する部会で、今後の整備方針を決めたり、事業計画や実施後の管理について打合せを行っていきます。

(担当:農村計画課 計画班)

## 孟宗 & 田植え体験

5月18日(日)に鶴岡市藤島にある因幡堰土地改良区で開催された、田んぼの学校「田植え & 孟宗掘り」体験に参加してきました。

孟宗掘り体験では、少し顔を出した孟宗の周りを注意深く掘り、年に一度しか体験できない孟宗掘りを楽しみました。



そ〜とそ〜と ここほるよ



管理された竹林

その後、田植え体験では、風は冷たいけど、田んぼの土は思ったよりもあたたかく、全身泥だらけになりながら、作業に没頭しました。



みんなで田植え体験



じゃんけん大会

恒例のクイズでは日本人が残飯で出してしまうゴミの量や世界で飢餓を起こさないために必要な農地はどのくらいか等考えさせられる内容でした。

しめくくりは、おいしい昼食です。味のしみた孟宗汁、手のこんだライスバーガー、肉巻おにぎり。米の消費拡大を意識したメニューで、みんなお腹いっぱいいただきました。

最後に、80名を越える参加者たちのために、おいしい昼食を作っていただいた事務局の方々、本当にありがとうございました。来年もまた参加したいと思います。

## 最高の気分で体験できた！

5月18日(日)やまがたの棚田20選に認定されている、暮坪の棚田で田植え体験が行われました。

県内で唯一、「日本海が見える棚田」。鶴岡市と協力して一般公募を始めてから5年目となり、毎年大勢の参加者で大賑わいである。今年は地域住民の親子30名ほどが参加し、子供たちは大声をあげながら楽しんでいました。



◀ 田植えを親子で体験 ▶



◀ 思ったよりあったか〜い ▶



◀ 田植えうまいでしょ ▶



◀ 海と棚田と仲間たち ▶

※ 今年の10月23日(木)～24日(金)に東北初の全国棚田(千枚田)サミットが上山市を会場に開催され、やまがたの棚田20選に選ばれている庄内の4地区も参加し盛大に(1,000人規模)行われます。

皆さんの力が必要です。ご協力よろしくお願いします。

### 漂着枯れ葉で元気良く！！

加茂港金沢地区では、毎年漂着した枯葉で港内がいっぱいになり漁船の安全航行に支障をきたしている状況です。

このようなことから、県では毎年この漂着枯葉を港から陸あげしたあと、約1年間かけて水抜き・塩抜きを行い、利活用の試みを行っています。

本年度、提供のめどが立った800m<sup>3</sup>を無料提供しており、5月20日(火)には三川町老人クラブ連合会による、漂着枯れ葉を混ぜ込んだ花の植栽活動を行いました。

※ 5/26の山形新聞に掲載されておりますのでご覧ください。



《漂着枯れ葉散布》



《花いっぱいです》



- 《漂着枯れ葉の利用方法》
- ◇ 既存土と混合して利用。（排水効果が期待できます）
  - ◇ 花などのプランター土として利用（土と50:50で混合）

- 《受け取りの申し込み》
- ◆ 県港湾事務所港湾整備担当（TEL 0234-26-5637）

[【詳細はこちらをクリック】](#)

- 《その他》
- ◇ 漂着枯れ葉は『無料』提供しております。（積込み運搬は個人負担となります。）



化けものがたくさん！？

5月25日に鶴岡の天神祭が行われました。東北六魂祭と日程が重なりましたが、それでも大勢の人々が見物に訪れました。

この祭りは、学問の神様といわれる菅原道真公を祀る鶴岡天満宮のお祭りで、通称「化けものまつり」と呼ばれ、編笠と手ぬぐいで顔を隠し、長襦袢を着て手に酒やお茶を持った「化けもの」が、無言で周りの人に振る舞うという奇習です。

また、市内目抜き通りではパレードが行われ、子供みこしや手踊り、道真公などが練り歩きました。



< こどもみこし >



< 大絵馬 >



< 手踊り >



< 菅原道真公 >



< こども化けもの >



< 疲れたので一休み >

## イネの花をかんさつしよう！！

5月28日(水)庄内町家根合の「ふれあいホーム家根合(学童保育)」の児童24名と、(全児童52名)ミニミニ田んぼで田植えを行いました。

子供たちの「イネの花は見たことない」のひと言から始まり、今年で3年目(3回目)を迎えました。

### 【スケジュール】

- ☆ 5月 ミニミニ田植え
- ☆ 5～ 8月 農家と児童が一緒となり生育管理
- ☆ 8月 夏にはミニミニ田んぼ 稲の花の観察
- ☆ 9～ 10月 稲刈り、乾燥、脱穀、精米
- ☆ 11月 試食会(収穫感謝祭)



《イネの花は自家受粉》

強い夏の日射しを浴びて、茎の根元から次々に新しい茎や葉を伸ばす「分けつ」が進んだイネの茎の中には、7月になるとイネの穂の元になる「幼穂:ようすい」が形成され始める。

8月上旬になると葉のサヤをわって穂が伸びてくる「出穂:しゅっすい」が起こり、出穂が起き始めて2～3日で、穂の全体が姿を現すと、天気のいい日の午前中に穂の先端からイネの花が咲き始める。

イネの花は、大きく目立つ花を咲かせて昆虫の力を借りて花粉を運んでもらう虫媒花(他家受粉)と呼ばれる花とは異なり、雄しべの花粉が風の力で運ばれて受粉が行われる風媒花で、しかも、雄しべの花粉が同じ花の雌しべに付いて受粉する「自家受粉」という方式をとっている。

大きくなれよ！

6月5日(木)ふれあいホーム家根合の児童24名により、めだかの里米水田にメダカの放流が行われました。

子どもたちは、なぜこのような活動を行っているのか等をNPO家根合の佐藤理事長に聞きながら、順番にメダカを受け取り、一斉に放流していました。

放流されたメダカは、1匹あたり500個の卵を産むといわれており、中干し前のメダカ引越し(捕獲)作業までにどのくらい増えるか楽しみなところです。

他のめだかの里米水田においても、生産者各々による放流が順次行われています。

メダカ引越し作業は7月下旬の予定です。



< 放流しま〜す >



< 大きく育ててね >

## 『とびしま』を満喫！

6月20日(金)～21日(土)の2日間にわたり、職場研修(ボランティア)として、県内唯一の離島『とびしま』へ行ってきました。

◇ 1日目は、定期船『とびしま』に乗り75分、飛島の勝浦港に到着しました。ボランティア活動を始める前に腹ごしらえです。

今回参加したメンバーは15名で各自昼食をとることにしました。島内にはとびうお出汁の美味しいラーメンを提供している食堂が2店舗と2012年7月に開業した、カフェスペース『しまかへ』(当時は『しまカフェ』)で、ボランティアに備えました。

天気はくもり、ボランティア活動をするには最高のコンディションで飛島にある農道の側溝の泥上げ作業を行いました。



◇ 2日目は、平成24年4月に被災した飛島漁港南防波堤の災害復旧工事の現地研修を行いました。その後、砂防堰堤やダムを見学し飛島の水事情について研修を行いました。

昼から定期船が出航するまでの間、島内を散歩したり、ゆっくりと過ごし飛島を満喫してきました。



本研修に参加された方、お疲れさまでした。また、ご協力していただいた方、本当にありがとうございました。

今秋にも、また違った研修を企画したいと考えていますので皆さんの参加お待ちしております。

## 現地研修(農業農村整備事業)

JICA「インドネシア・パプア州水稻栽培技術向上支援事業」により来県している研修生3名が、7月1日(火)庄内へ現地研修に訪れました。

研修では赤川頭首工をはじめ、現在工事を実施している鎌田地区や西郷北部地区を案内し、概要説明を行いました。

はじめは、小雨が降る中での研修でしたが、徐々に天気も回復し研修後半では青空も見えました。

研修にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



< 赤川頭首工 管理棟 >



< 鎌田地区 >



< 西郷北部地区 揚水機場 >



< 西郷北部地区 作付け状況 >

## 『ミズバショウの郷』づくり！

鶴岡市で実施中の西郷北部地区ほ場整備事業では、自然環境の保全にも配慮しながら工事を行っています。7月3日に西郷小学校6年生が地域・工事関係者と共に、集落と集落を結ぶ水路沿いに、ミズバショウを植える作業を行いました。

また、作業終了後に、用水の仕組み・田んぼ機能の学習会を行いました。

今回移植したミズバショウは、地域のミズバショウの群生地「西茨湿原」から種を取って、昨年7月に当時の西郷小学校6年生と種まきをして、1年間育ててきたものです。

今年も種まきからミズバショウの育成を行い、地域内の至るところにミズバショウが咲き誇る「ミズバショウの郷」づくりを目指して、活動していきます。



< 移植作業 >



< 水やり >



< 田んぼ機能の学習会 >



< 田んぼ機能の学習会 >

毎年、この活動をつづけていただき、地域の宝「ミズバショウ」を守ってほしいと思います。

ミズバショウの見ごろは、4月下旬から5月です。是非見にきてください。【[場所はここ](#)】

### 2年に一度の大まつり

7月20日(日)に、鶴岡市加茂港にて大漁フェスティバルが行われました。このイベントは、加茂地区自治振興会が主体となっているフェスティバル実行委員会が主催して、2年に1度海の日に開催され、今年で12回目を迎えます。

イベント内容は、漁船やプレジャーボートの試乗、各種海産物・食品の販売、加茂水産高の実習製品(冷凍マグロ等)の販売などで、加茂水族館の人気もあいまって大勢のお客様で賑わいました。

また、東北公益文科大の学生たちが、加茂地区自治振興会や加茂水産高などと協働で取り組んでいる「庄内景観回廊・加茂地区活性化事業」の一環として、第2駐車場からイベント会場や加茂水族館へ歩く観光客に対し、お休み処を「極楽寺」内に設けて、麦茶を振る舞うなど、まち歩きを楽しんでもらっていました。



### 水しぶきを上げながら…

梅雨明けした7月28日(月)、鶴岡市羽黒町荒川にある笹川第2揚水機場の近くを流れる藤島川で、水土里ネット笹川の21世紀土地改良区創造運動の一環として、鶴岡市立いずみ保育園の園児25名を招いて、水遊びを行いました。

笹川の職員や地元農家、保育士、市、県の関係者など約40人が見守る中、ペットボトルで作ったいかだやミニプール、水鉄砲、ビーチボールを投げ合ったりと、大人も園児たちも楽しく水遊びをしました。

園児たちから、いかだに乗れて楽しかった、ミニプールで水遊び楽しかった、もっと遊びたい、などの感想があり、最後に水遊びのお礼として、スタッフのみんなに踊りと肩たたきのプレゼントをいただきました。



川や水辺は、ルールを守らないと大変危険な場所です。ルールを守り大人の言うことを聞いて楽しく遊びましょう！



## 大人も子供も大賑わい！

8月3日(日)「第32回ふじしま夏祭り」が藤島体育館北側の芝生公園で開催され、そのメインイベントである「魚のつかみどり」に参加してきました。

地元の因幡堰土地改良区が夏祭りの実行委員会と共催し、今年で12年目を迎えるイベントです。

午前中は子供たちが、せせらぎ水路で転倒やケガをしないように、地元藤島中のボランティアグループをはじめ改良区、市、県の関係者たち約40人が協力して清掃活動を行いました。

午後の本番を向け水路の周りには約700人の参加者が集まり大賑わいの中で始まりました。

金魚300匹、おもちゃ、そして900匹のイワナが放流され、大人たちは捕まえ方を子供に教えながらワイワイ楽しく魚のつかみどりをしていました。



(約700人が参加した魚のつかみどり大会)



(ケガをしないようにボランティアによる清掃活動)

また来年もみんなで参加したいと思います。

暑い中、せせらぎ水路の清掃活動をお手伝いされた方、大変お疲れ様でした。

## ビリッとサルを寄せ付けない！？

”食と暮らしを守る”棚田保全支援事業として、小水力発電を活用した猿害対策事業をH26年に立ち上げ(地域予算単年度)、越沢地区と大網地区の2地区を対象として進めています。

- ◆ 越沢地区では、8月5日(火)に地元15人、市、県の関係者が協力し小水力発電機(ピコピカ)と約2,500平方メートルの畑に電気柵を設置しました。

電気柵の設置は皆さん初めてだったため試行錯誤しながら何とか通電することが出来ました。



- ◆ 大網地区では、8月7日(木)に地元10人、市、県の関係者が協力し小水力発電機(ピコピカ)と、こちらも約2,500平方メートルの畑に電気柵を設置しました。

発電機は1台で電気柵の設置場所が2箇所あり間を農道が通っていたため細工するのに手間がかかりましたが何とか設置することが出来ました。



設置期間は11月下旬までです。サルの被害が無いように電気柵をしっかり管理して欲しいと思います。大変お疲れ様でした。

### 光り輝く ひまわり！

あるお昼時、鶴岡市大網を通ったところ太陽に照らされて、光り輝く「ひまわり」を見つけたのでご紹介します。

夏になると思い浮かべるのが、海・かき氷・スイカ、そして夏の花「ひまわり」です。

今年の「ひまわり」は日照不足なのか？少し小ぶりなのが目立っています。



庄内地域は、今見ごろを迎えています。是非、庄内地域に足を運んでいただき夏を満喫してみてくださいはいかがでしょうか？

### ここに庄内の食が集結！

9月7日(日)、鶴岡市藤島体育館を会場に「食の都庄内」10周年フェスタが開催され、約2,500人の来場者で賑わいました。

会場では、庄内浜文化伝道師によるクロマグロの解体とお刺身の振る舞いが行われました。

また、「食の都庄内」親善大使の4氏による創作料理が振る舞われ、食材や調理法を解説しながら実演を行っていました。

会場には、庄内の農産物や加工品、庄内浜の魚介類など45の飲食・物販ブースが出店しており、たくさんのお土産を買い求めていました。



### 鳥海南麓の広大な土地で・・・

鳥海南麓山楯団地のほ場で、酒田市東部中学校の農業体験実習が行われました。

山楯団地は庄内東部大規模畑作営農強化プロジェクト事業により、都市住民との交流や農業体験の取組みを行っています。今回の体験実習はその一環として地元農家が受け入れたものです。

農業体験の狙いとして、農業への意識・理解を深め、食べ物や命の大切さを考える心を養うとともに、人と自然、自分たちの住む地域とのかかわりを学び、自然や郷土を理解し愛する心を育むものです。



(大根の種まき・補植)



(赤ねぎの移植)



作業内容は、赤ねぎの移植と、大根の種まきを行いました。農家の方から食べ物に感謝すること、ものづくりの大変さ、みんなで協力することの大切さを生徒たちに話されました。

### たのしい「農業体験」と おいしい昼食会

9月21日(日)鶴岡市藤島にある「いなばの田んぼ」で、稲刈り体験が開催され、総勢70名の親子が参加しました。

学校長のあいさつの後、農業技術普及課の職員から稲刈りのポイントや注意点などを説明していただき、稲刈り作業にとりかかりました。

子どもたちは、イネを刈るのにはなれてきているようでしたが、「からががいね」※1から、親たちが「からがぐ」※2のがメインになっているようでした。

この日は、特別にはえぬきやつや姫の交配状況と、実証ほ場では つや姫のお父さん、お母さんを見学しました。

杭がけも終わり、いよいよ「おいしい昼食会」の時間となりました。毎年恒例のクイズ大会では季節野菜あてクイズを行い、商品はなんと胴腹のおいしい湧水をいただき、ありがとうございました。

疲れた体をいやすのはやっぱり、おいしい新米のおにぎりとも煮でしょう。いも煮は庄内風のみそ味と内陸風のしょうゆ味の2種類があり、みんなで食べ比べをしたところ、みそ味の圧勝でした。(食べなれているのと県外票が多かったのかな?)



水土里ネットいなばでは、田んぼ学校として一年をとおり様々なイベントを行っています。また、山形県では旧市町村単位で1名の農村環境保全指導員を委嘱しており、地域活性化のため、日々がんばっていただいております。

※1:束ねられない ※2:束ねる

## 越沢の棚田で気分爽快！

### 秋の棚田を山歩き！

9月21日(日)鶴岡市越沢にある『越沢の棚田』(やまがたの棚田20選)で越沢そばの郷・郷清水の棚田トレッキングが開催されました。

秋晴れのもと、やまがたの棚田20選に認定されている越沢の棚田を望みながら、子供からお年寄りまで、県内外の総勢50名の方たちがゆっくりと山歩きを楽しみ、摩耶連山のふもとから湧き出る銘水「郷清水」を訪ねました。

郷清水では、おいしい湧水と摩耶山(日本酒)、地元の方が手作りするぶどうジュースをいただき、身体の中から癒されるひと時を過ごしました。

お昼は、地元で栽培している「そば」とこの地域特有の「笹巻き」、「とちもち」をいただきました。楽しいひと時を過ごさせていただきました。



### 秋の恵みに感謝します！

9月23日(火)、やまがたの棚田20選に認定されている、旧温海町の越沢の棚田で地元の小学生11人、父兄とスタッフで21人、総勢32人で稲刈り体験が行われました。

この日は20アールの田んぼで、地元の農家の方からイネ刈りや束ね方、そして、杭かけの方法まで教えていただき、参加した方々はいい汗をかきながら一生懸命稲刈り体験を楽しんでいました。

お昼は、この棚田で栽培しているお米をおにぎりにして提供していただきました。おいしかったです。

最後に、このおいしいお米を作る湧水(みなもと)、郷清水を見学し終了しました。



このように貴重な体験をさせていただきありがとうございました。  
また、来年も参加したいと思います。



## 自然を守るために！

9月26日(金)から30日(火)において、今後農地整備事業が計画されている4地区の生きもの調査を行いました。

この調査は、事業の計画・実施に際して環境との調和に配慮することが法律で定められており、自然を守るための大きな一歩となる重要な調査です。



今回調査したところ、いろいろな生きものたちを発見したので紹介します。

- ・アブラハヤ
- ・マドジョウ
- ・オタマジャクシ
- ・モツゴ
- ・カワニナ
- ・ツチガエル
- ・ヒメゲンゴロウ

(担当: 庄内総合支庁農村計画課 計画担当)